

2 マップの活用例 (防災マップシールを使ってマップをレベルアップ)

街の中を探検して、防災資源を確認してみよう!

- 1 災害時に役立つ物・場所
- 2 災害時に役立つ防災資源としてどんな物や場所がどこにあるか確認しよう。
- 3 (避難に活用できるオープンスペースや高い場所など) 役立つ物・場所を記入し、その番号のシールを地図に貼ろう。

災害時に役立つ物・場所用シール
災害時に役立つ防災資源としてどんな物や場所がどこにあるか確認しよう。
(避難に活用できるオープンスペースや高い場所など)
役立つ物・場所を記入し、その番号のシールを地図に貼ろう。

自分だけの防災マップの完成



危険な場所用シール

マップで避難経路を確認したら、実際にその道を歩いてみよう。地震で倒れる危険性のあるブロック塀や大雨で浸水がおきやすい場所など、危険だと思った場所にシールを貼ろう。避難経路の途中で危険な場所があったら、別のルートも考えてみよう。



3 マップの応用例 (マップの資源を使った共助活動)

大切な人がいる場所を確認!

- 家族や友達がよくいる場所用シール**
シール右の空欄に、家族や友達の名前を記入して、よくいる場所がわかるようにしておく。
- 支援が必要な人用シール**
シール右の空欄に、支援が必要な人の名前を記入してわかるようにしておく。

「支援が必要な人」は、どこにいる?
ご近所で、一人での避難が難しそうな方、心配な方がいる場所にシールを貼ろう。いざという時には、声をかけて一緒に避難する準備をしておこう。

近所の皆さんと一緒に活動

- 初期消火活動**
消火器の使い方を学んでおこう!
- 安否確認活動**
安否確認ボードを使って効率よく安否確認できるように、ご近所で話し合っておこう!
- 救出・救護活動**
AEDの使い方や担架での搬送法を確認しておこう!



旭町地区 防災マップガイド

～ もしものときに備えて 自分・家族・地域を守る! ～

練馬区

保存版

令和3年3月発行

あれ!
ポストに何か届いてる!

台風 地震 大雨 土砂災害
最近災害が多いなあ...
防災意識の高いボク! 大丈夫でしょ!

ここで防災クイズ!
水害が起きたらどこに避難すればよいでしょう?
正しい避難所よ!

残念
正しい避難所よ!

便利なコンビニ!
防災に詳しい旭ばあ!

そもそも地震と水害では避難する場所が違うのよ

地震 避難地点 (小・中学校)
水害 避難所 (地区民会館、地区区民館、小・中学校等)
全部このマップにのっているんだね

ここで活躍するの... オリジナルの防災マップ!
旭町地区だけの特別なマップなのよ

レッツトライ!
シールを貼ったり、ペンで書くとオリジナルマップになるんだね。

自分用の防災マップをつくらう

この「防災マップガイド」には、「防災マップ(地震編、水害・土砂災害編)」「防災マップシール」が付属しています。
2~4ページを参考に、自分と家族の命を守るための防災マップをつくりましょう。



■ ねりま情報メール

登録はnerima@entry.mail-dpt.jp
へ空メールを送るだけ。

避難所開設状況、緊急地震速報、避難勧告・避難指示などの災害関連情報ははじめ、安全・安心情報、区政情報をお知らせします。

■ 防災無線の放送内容を電話で確認できます。

電話: 0120-707-111 (通話無料)
放送後24時間まで確認できます。
また、区のホームページやねりま情報メールからも内容を確認できます。



■ 防災・安全安心情報

練馬区のホームページで安全・安心に関する情報を確認できます。

地震、水害や土砂災害に関する情報や防犯など安全・安心に関する情報を掲載しています。

防災の手引



■ 旭町地区防災マップとは?

災害時に命を守るために必要な情報をまとめ、避難場所までの安全な経路や地域の防災資源などを各家庭で確認していただくことを目的として区が作成したものです。作成にあたっては、旭町地区にお住まいの方々、お勤めの方々との意見交換やまち歩き・訓練などを通じて地域の情報を収集しながら、全3回のワークショップを行いました。
近い将来発生するかもしれない首都直下地震、台風やゲリラ豪雨などによる被害を最小限に抑えるため、この「旭町地区防災マップ」を活用してください。
※日頃から、マップを見て街中を確認し、防災情報を集めておきましょう。

対象区域



発行・問合せ 練馬区危機管理室区民防災課

電話: 03-5984-4504 / FAX: 03-3993-1194
E-mail: kuminbousai03@city.nerima.tokyo.jp

1 防災マップの基本的な使い方

備えた分だけ、
震いしだね！



自宅からの避難経路を確認しよう！

地震



防災マップシールとペンを用意



STEP1 自宅にシール

防災マップシールの「自宅」を地図に貼りましょう。



自宅

STEP2 避難する場所にシール

防災マップシールの「避難する場所」を貼りましょう。



避難

STEP3 避難経路を書く

「自宅」から「避難する場所」までの避難経路を書き込みましょう。



水害
土砂災害



浸水深シールを活用しよう

どの高さまで浸水する危険があるかマップを見ながら、実際に部屋の壁や家具にシールを貼って確認してみましょう！



浸水深が0.5m未満でも注意が必要だよ。
どこに注意が必要なのか、実際に歩いて確認してみよう。

災害に応じて避難場所が異なります！

地震

近くの避難拠点（区立の小中学校）へ



区立の小中学校が避難拠点になっています。震度5弱以上の地震が発生した場合、施設の安全が確認されたのち、開設します。居住地による避難先の指定はありません。お近くの避難拠点へ避難してください。

※地震が起きても、ご自宅が安全であれば避難する必要はありません。ご自宅で生活を続けること（在宅避難）を勧めます。なお、不足した物資や災害情報は避難拠点で入手できます。

台風接近に伴い、避難が必要と見込まれる時は、旭町地域集会所を避難所として開設します。降雨状況や地域の危険性に応じて、旭町小学校、旭町北地区区民館、さらに河川の氾濫や土砂災害の危険性が高まった場合には、豊深中学校を開設する場合があります。

※全ての施設を開設するわけではありません。必ず区ホームページや、ねりま情報メール（4ページ参照）などで避難所の開設状況を確認しましょう。

水害
土砂災害

旭町地域集会所へ



地震

ブロック塀や家屋の倒壊に気を付けて

地震により、ブロック塀や家屋が倒壊する危険性があります。

避難の際は、倒壊の危険性のあるブロック塀や家屋を避けて行動しましょう。



落下物に注意！

ビルの壁やガラス、看板などが落下してくる場合があります。

避難の際は、ヘルメットやカバカンなどで頭を守りましょう。

避難のポイント

早めの情報収集・早めの避難

水害は、気象情報等により、被害がある程度予測できます。早めに、情報を収集し、危険が予想される時は近隣で声を掛けあって、安全な場所へ避難しましょう。



避難が遅れたら、2階・3階へ

家の周りが浸水してしまうなど、避難所等へ行くのが危険な場合には、家の中の2階や3階など、少しでも高い所へ避難しましょう。



水害
土砂災害